



やるきほんききききき 木佐木

神奈川県議員

日本共産党

2023.11.15

木佐木ただまさ news

発行：党横浜北東地区委員会

横浜市鶴見区潮田 3-147-6

TEL：045-511-1021

Profile

- ▶1984年 山梨県出身
- ▶鶴見区馬場在住
- ▶神奈川大学法学部卒
- ▶よこはま健康友の会会長
- ▶横浜東民商顧問

前川喜平さんと鶴見朝鮮学校を視察



大山奈々子県議、私、前川喜平さん 朝鮮学校の前で

全ての子どもの学びの保証を

11月14日、朝鮮学校に対する差別的な取り扱いをなくすために取り組んでいる方からお声がけいただき、鶴見区内にある朝鮮学校の視察に参加しました。この視察には元文部科学省事務次官の前川喜平さんも参加されていました。

現在、高校無償化で私学も含めて授業料の無償化などが進む中で、朝鮮学校はその対象から外されています。黒岩知事は朝鮮学校に補助を行うことは「県民の理解が得られない」としています。私は、朝鮮学校の取り扱いだけを異にするのは明らかに差別的取り扱いであり、他の学校と同じように補助すべきと一期目の時から求めてきました。

共に生きる県民として

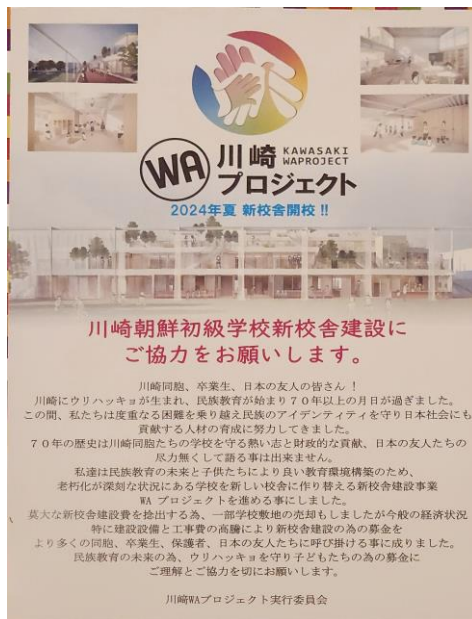
北朝鮮のミサイル実験などに憤りや不安を感じている人は多いと思いますし、私自身もその一人です。しかし、朝鮮学校に通うのは戦前戦中に日本に連れてこられ、日本で生活することを強いら

れてきた家族とその子孫です。今では、在日4、5世となっており、日本で生まれ日本で育ち日本で暮らし続ける人たちは。同じように税金を払い、同じ地域で暮らす同じ神奈川県民です。こうした人たちの学びの環境を奪うことが、なぜミサイルや拉致問題の解決に資するのでしょうか？

差別や排除ではなく、共生社会こそ神奈川が目指す未来のはずです。

互いに知ることが最初の一步

この間、労働組合の企画で在日コリアンの青年たちと交流し日朝の歴史を学ぶ学習会にも参加してきました。そこで感じたのは、被害と加害の両方の歴史を直視し、ともに過去を乗り越えていくために排除ではなく理解を促進するという当たり前のことでした。交流した彼らは、同じように世界の平和を願い、日本での暮らしの安寧を求める私たちと何ら変わることはない住民です。彼らの



背景を知り、理解しアイデンティティを尊重する日本社会の成熟度が問われていると感じます。差別ではなく共生を神奈川県政で実現するために頑張りたいと思います。

